

令和3年

雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

【会派代表質問日程 令和3年3月3日】

令和3年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表 目次

順番	日程	会派名	質問者		質問方式	ページ
			議席番号	氏名		
1	3月3日(水) 午前9時30分～	政友クラブ	17	藤原 信宏	一括	1～3
2		明誠会	13	原 祐二	一括	3～6

令和3年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

令和3年2月24日

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	政友クラブ 藤原信宏 (一括)	1. 市政運営に臨む 基本姿勢について 2. 持続可能な行財 政運営について 3. 安全安心なまち づくりについて	(1) 石飛新市長の市政運営に当たっての基本姿勢、「厚（熱）い志」を伺う。 (2) 計画が進む大型事業の見直しについて2事業が挙げられている。その決定には十分な精査と開示、協議を重ねた上での合意形成が不可欠だ。議会に諮り手続きを踏みながら進めるべきだが、見解を問う。 (3) 松江シティFCが雲南市拠点のユースチーム設立を突然に断念した事は遺憾だ。「サッカーを通じた魅力ある教育環境創出事業」は、本当にこれで良かったか、今後どのように軌道修正する考えか。 (1) 地域自主組織中心の「市民との協働によるまちづくり」は時代の要請だが、高齢化と人口減少の波に陰りが見える。担い手の育成確保や組織の充実、財源確保等、課題解決の積極的な対策を求める。 (2) 普通交付税の一本化算定移行による減額等で、一般会計は令和元年度より収支不足に陥っている。 ①実質公債費比率等の財政指標が悪化傾向にある。持続可能な財政構造確立に向けた方針は。 ②健全財政確立の鍵を握る「公共施設等総合管理計画」の着実な執行に向けての心構えを問う。 ③生活排水処理事業の経営効率化も急がれる。汚水処理施設整備構想の前倒し実施はできないか。 (1) 新型コロナウイルス感染防止の切り札、「安全なワクチン接種」の最新の準備状況と接種計画を伺う。	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		4. 活力と賑いのあ るまちづくりにつ いて	<p>(2) 自主防災組織等を通じた「自ら命を守る」自助の意識啓発、防災行動力向上の取り組み推進は。</p> <p>(3) これまで雲南市は、原発に対し「代替エネルギーが普及するまでの当面の間の原発は致し方なし」との基本姿勢を取ってきた。島根原発2号機の再稼働に向けた適合性審査が終盤を迎えているが、原発稼働の可否についてどのように考えるのか、市長の基本的見解を伺う。</p> <p>(4) 不足する介護人材の確保に向け、資格取得の資金援助や外国人採用等による介護職員の確保、賃金上乘せ等の処遇改善、介護ロボット導入に向けた経済的支援等の施策展開は図れないか。</p> <p>(1) 「若者チャレンジ」を始め「ソーシャルチャレンジによる持続可能なまちづくり」は、人口減少対策や地域の活性化に導く人材育成・確保に向けた的確な取り組みであったと評価している。「人口減少に歯止めをかける対策」として、市民のチャレンジを積極的に支援する考えについて伺う。</p> <p>(2) 人口急減地域における「特定地域づくり事業協同組合」について、その立上げの考えと諸課題・諸調整など準備状況について伺う。</p> <p>(3) 森林環境譲与税は国土保全や災害防止、山村振興に導く貴重な安定財源であり、単年度ごとの消化ではなく、中長期のビジョンが必要だ。譲与税活用の中長期計画の策定を求める。</p> <p>(4) 中心市街地活性化事業の目的達成には、核施設のビジネスホテル誘致が不可欠である。コロナ終息の見通しは不透明で予断を許さない。ホテル建設実現まで最大限の努力を要請する。</p> <p>(5) 道路改良の促進について</p> <p>①市道改良について、次期 10 カ年の道路整備計画を検討中だ。限られた財源であ</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		5. 教育行政について	<p>り、6 町間はもとより各町域内にあってもシッカリと調整し、地域バランスの取れた計画とされたい。</p> <p>②国道 54 号の改良について、三刀屋 4 車拡幅、里方・自転車歩行者道整備事業の進捗が鈍い。加茂柳橋の交差点改良計画も併せ、一連の改良事業促進に一層の努力を求める。</p> <p>(1) G I G A スクール構想の推進について、急展開に学校現場は多くの課題を抱えていると推察する。</p> <p>① I C T を活用してどんな教育をめざすのか、ビジョンやロードマップの策定が急務ではないか。</p> <p>②教職員の I C T 活用能力向上や課題を共有する情報交換の場作り、専門人材の配置の取り組みは。</p> <p>③ 5 年毎の更新時に多額の財源が必要だ。国の補助金を見込まずに財源確保できるか。</p> <p>(2) 平和行政・教育の推進について</p> <p>①改築オープンする永井隆記念館を活用した積極的な内外発信や平和教育・学習の取り組みを伺う。</p> <p>②永井隆博士顕彰基金が枯渇した。事業継続を保障する「基金の積立て」を求める。</p>	
2	明 誠 会 原 祐 二 (一 括)	1. 目指す雲南市について	<p>(1) 市長は、選挙戦において原仁史前市長の政治理念を継承し、「みんなで造ろう、雲南市の未来」「古いしがらみからの脱却」を力強く訴えられた。今後の市政運営では、選挙戦でのこれらの訴えをどう実現していくのかを問う。</p> <p>(2) 8 年ぶりの市長選挙では、投票数の 53 パーセント (11,619 票) を獲得され市長に就任された。選挙結果 (反対数 47 パーセント) をどのように捉え、今後の市政</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		2. 新市政の主要政策（新たな風）について	<p>運営にあたるのか決意を問う。</p> <p>(3)選挙公約として、「日本一幸せな地域を目指す」「人口減少問題に真正面から取り組む」とされた。</p> <p>①日本一幸せな地域を目指すため、幸福度の指数化と成果の開示による、市民本位の行政運営にどう取り組むのか。市長が目指す日本一幸せな地域の成果指数とは何かを問う。</p> <p>②人口減少問題に真正面から取り組み、「力強い雲南市」「明るい雲南市」「安心して暮らせる雲南市」を目指すとした。市長は、人口減少問題をどのように捉えているのか。自然減を抑制し社会増を目指していくのか、具体的な数値目標を問う。</p> <p>③本市の目指す姿とされた「子どもの声があふれる明るい雲南市」、「大人が生き活きと活動する力強い雲南市」、「誰もが生きがいを持って、安心して暮らせる雲南市」を実現するためのロードマップと決意を問う。</p> <p>市長は、課題を乗り越え、雲南市の信頼を取り戻すため、市政に新たな風を吹き込むとされた。</p> <p>(1)市外に在住し、県職員として働いた経験などから本市の抱える課題、優先して解決すべき課題、財政状況をどう捉えているのかを問う。</p> <p>(2)まちづくりの目標と方向性を示す、「第2次雲南市総合計画後期基本計画」・「第2期雲南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び実施計画の評価と政策推進に向けた行政組織の改編・政策決定のあり方を問う。</p> <p>(3)6町には、都市機能を担う中核拠点ゾーン及び拠点ゾーン、農業などの生産振興を図る生産振興・交流ゾーンを設けている。人口減少が進む、拠点ゾーン（吉田・掛合の中心部）と6町の周辺部である生産振興・交流ゾーンの振興について市長の所見を問う。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>(4)若者定住には、魅力的な教育・安心できる医療・働く場があることが必須条件だ。出生数を増やし人口減少の抑制に向けた、若者定住への教育・医療・仕事について政策を問う。</p> <p>(5)本市における75歳以上の人口は約8,000人(約22パーセント)、75歳以上のみの世帯は約2,470世帯(約18パーセント)である。地域の存続には、75歳以上の世帯や人口の増加を見込んだ対策が必要ではないか。今後の75歳以上のみの世帯数の見込みと政策を問う。</p> <p>(6)市民生活を支える地域交通であるバス、タクシー(民間も含む)について、今後どのように運営・支援していくのか。地域交通(バス・タクシー)のあり方と政策を問う。</p> <p>(7)地域経済は、新型コロナウイルス禍で厳しさを増している。農林業、商業、製造業、建設業、サービス業など地域経済への効果を高めるためへの政策を問う。</p> <p>(8)市長が目指すとされた「安心して暮らせる雲南市」には、地域医療の充実が求められる。一次医療を担う開業医や診療所、二次医療を担う市立病院、三次医療を担う市外の大きな病院との連携など、医療体制についての所見と政策を問う。</p> <p>(9)地域自主組織を中心とした、持続可能な地域づくりを今後どうブラッシュアップしていくのか。総合センターの役割が重要との考えを示されたが、持続可能な地域づくり政策を問う。</p> <p>(10)令和3年度当初予算は、政策的な判断を必要としない骨格予算により編成・提案された。新規事業は、当初予算を見送り新体制において協議し、肉付け補正で対応を検討するとのことだか、見送られている事業(新規・継続)と予算化への市長の所見を問う。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		3. 投票率の向上について	<p>(1) 市長選挙の投票率は、8年前（2012年）から12.44ポイント下回り69.17パーセントと低投票率であった。市長のキャッチフレーズ「みんなで造ろう、雲南市の未来」には、投票率向上へ向けたあらゆる努力が必要ではないか所見を問う。</p> <p>(2) 市長選挙は、短期決戦となり両候補ともSNS（ツイッター、フェイスブックなど）を活用され支援の拡大に努められた。投票率の向上策として、ケーブルテレビを活用した音声・映像による選挙公報（政見放送等）を検討すべきではないか所見を問う。</p>	